

平成27年 9月24日

中災防正会員団体（機関）

代表者 各位

中央労働災害防止協会

理事長 関澤 秀哲

第75回 全国産業安全衛生大会（平成28年度仙台大会）研究発表
応募勧奨のお願いについて

平素から、当協会の事業運営につきまして多大なるご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来年度（平成28年度）の全国産業安全衛生大会は、別添の開催要領のとおり、平成28年10月19日（水）～21日（金）までの3日間、宮城県仙台市において開催いたします。

同大会におきまして、多くの有意義な発表をいただき、ご参加される方々、企業の安全衛生水準の向上に繋げていきたいと考えておりますが、開催地が仙台市であることから、同大会を東日本大震災からの復興支援大会に位置付け、応募区分に「(11) 企業における防災・震災対策、危機管理」を加えるとともに、気運醸成のため例年より募集を早期に開始することといたしました。

つきましては、「第75回（平成28年度）全国産業安全衛生大会研究発表募集のご案内」を下記のとおり送付いたしますので、業務ご多忙中のところ大変恐縮ですが、関係事業場様等に配布していただくとともに、貴団体の機関誌やホームページ（中災防ホームページにPDFデータを掲載していますので、データの利用およびリンク先としてご活用ください。）等で同大会の周知及び研究発表応募勧奨方のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

なお、貴団体より研究発表としてご推薦いただく応募につきましては、同封しております応募用紙を用いて、下欄に推薦団体名等をご記入いただき、ご提出くださいますようお願い申し上げます。

また、本年度（平成27年度）の全国産業安全衛生大会（名古屋）の参加勧奨につきましても、多大なるご協力をいただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。

記

「第75回（平成28年度）全国産業安全衛生大会研究発表募集のご案内」 10部

第75回(平成28年度)全国産業安全衛生大会in仙台

開催のお知らせについて

中央労働災害防止協会では、標記大会を平成28年に宮城県仙台市において開催いたします。

東日本大震災の発生から5周年にあたる節目の年に、被災地である仙台で、全国の各地から約1万人の労働安全衛生関係者の参加を得て、人々の安全と健康に関するわが国最大規模の全国大会を開催し、東日本大震災からの復興支援の一助になればと考えております。

このため、被災された事業場等が震災から得た教訓を広く参加者で共有し、震災対策の重要性を再度確認し、企業における防災・震災対策、危機管理の好事例等の情報提供を通じて安全で健康な職場づくりを支援するとともに、労働安全衛生活動を通じて、地域社会の復興、活性化等への貢献を果たしている事例などの紹介により、労働災害防止活動のより一層の気運の醸成を図ることとしております。

なお、仙台大会では特別に“企業における防災・震災対策、危機管理(職場の防災・震災対策事例、事業継続計画(BCP)事例、パンデミック対策事例 など)”という区分を新たに設けるとともに、他の区分でも活動内容の中に、これらの関連事項を含めて、研究(事例)発表を募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。

開催期間

平成28年10月19日(水)～10月21日(金)

開催地

宮城県仙台市

大会テーマ

「築こう未来へ 安全と健康でつなぐ 復興の架け橋」

会場

19日 総合集会 仙台市体育館
20日、21日 分科会 仙台国際センター、
仙台市内各会場ほか

主催

中央労働災害防止協会

協力

公益社団法人宮城労働基準協会

同時開催

緑十字展2016

第75回全国産業安全衛生大会(仙台大会)

●●● 研究発表募集のご案内 ●●●

中央労働災害防止協会では、標記大会を平成28年10月19日(水)～21日(金)までの3日間、宮城県仙台市において開催いたします。仙台大会は東日本大震災の被災地での開催であることから、大会のテーマを「築こう未来へ 安全と健康でつなぐ 復興の架け橋」としました。

本大会では、被災された事業場が震災から得られた教訓や厳しい状況下で従業員の安全衛生を確保しつつ、復旧・復興に取り組まれたプロセスなどを広く参加者で共有することにより、企業の防災・震災対策に資することとし、このため、研究発表にも新たな分野として、応募区分に「(11) 企業における防災・震災対策、危機管理」を設けました。

東日本大震災関連はもとより、他の災害関連でもふるってご応募をお願いいたします。

また、労働安全衛生活動を通じて、地域社会の復興、活性化等への貢献を果たしている事例などの紹介により、労働災害防止活動のより一層の気運の醸成を図りたいと考えております。

(11) 以外の区分でも活動内容の中に、これらの関連事項(一部例示しています。)があれば、それを含めて応募いただければと存じます。

研究発表募集要項

① 応募要件

次の要件を満たす研究(事例)発表とします。ただし、第74回(平成27年度)全国産業安全衛生大会(名古屋大会)で研究発表された方は、応募できません。

- (1) 事業場等における安全衛生についての研究成果や改善事例等で、企業の安全衛生水準の向上に寄与し、広く全国に紹介することが適当と思われるもの。
- (2) 活動の成果や改善結果に限らず、そのプロセスにおいて工夫した点、苦労や失敗、振り返り、今後の展望等を含めた発表であること。
- (3) 過去の全国産業安全衛生大会や、中災防の定期刊行物等で、同一の発表がなされていないもの。
- (4) 所属長等から応募の承認を受けたもの。

② 応募区分

該当する番号を別紙応募用紙の応募区分欄に記入してください。なお、同一事業場から、同一応募区分での複数応募をすることはできません。※以下の●印は、発表の例を示しています。

- (1) 労働安全衛生マネジメントシステム／リスクアセスメント
 - 労働安全衛生マネジメントシステムの導入・定着の事例
 - 企業におけるリスクアセスメント事例
 - 日常的な安全衛生活動(小集団活動、KY活動、ヒヤリハット活動、5S活動、改善提案制度等)がリス

- クアセスメント活動にもたらす効果 など
- 〔防災等の例〕緊急時の対応、避難訓練の規程、手順書の改定、訓練実施
- (2) 化学物質管理
 - 化学物質に関するリスクアセスメントによる健康障害防止、爆発火災防止の事例等
 - SDS(安全データシート)を活用した化学物質管理の事例 など
 - 〔防災等の例〕震災を想定した化学品の貯蔵、保管、取扱方法の改定
- (3) 機械・設備等の安全
 - 機械・設備に関するリスクアセスメント事例
 - 機械・設備の安全対策(はさまれ・巻き込まれ、切れこすれ、墜落・転落等の防止対策)や残留リスク対策の事例 など
 - 〔防災等の例〕震災を想定した機械設備の固定、制振等
- (4) 安全管理活動
 - 安全管理、職場安全活動の推進事例
 - 作業方法、作業手順等の改善事例 など
- (5) 安全衛生教育
 - 企業内における安全衛生教育、安全(危険)体感教育の事例
 - RSTトレーナーによる職長教育
 - 派遣・請負の安全衛生教育の事例
 - 大学での安全衛生教育の事例 など
 - 〔防災等の例〕緊急時の対応に関する実践的教育等

- (6) 中小企業における安全衛生対策

- 安全衛生管理体制の整備、活動の活性化等の事例
- 集団(工業団地、事業協同組合、商工会、安全衛生協力会等)、地域等で進める安全衛生活動の事例 など

- (7) ゼロ災運動

- 全社一丸となってゼロ災運動を推進している事例
- KYTや指差し呼称を日々の作業の中で展開している事例 など

- (8) 交通安全

- 構内・構外の交通事故防止対策事例
- 業務中・通勤時の安全運転対策 など

- (9) 労働衛生管理活動

- 職場の作業環境管理、作業管理及び健康管理に関する事例
- 受動喫煙防止対策に関する事例
- 熱中症予防対策に関する事例 など

- (10) メンタルヘルス／健康づくり

- 職場の健康づくり活動に関する事例
- 生活習慣病対策に関する事例
- 職場のメンタルヘルス対策に関する事例
- メンタルヘルス不調者の職場復帰支援に関する事例 など

〔防災等の例〕災害後のメンタルヘルスケア等

- (11) 企業における防災・震災対策、危機管理

- 職場の防災・震災対策事例
- 事業継続計画(BCP)事例
- パンデミック対策事例 など

- (12) 第三次産業における安全衛生活動

- 小売業における安全衛生活動の事例
- 社会福祉施設における安全衛生活動の事例
- 飲食店における安全衛生活動の事例 など

- (13) その他

- 海外関連事業場における安全衛生活動の事例、ヒューマンファクター(人間特性)に関する研究、高齢労働者の安全衛生対策の事例 など

※応募区分は、分科会を示すものではありません。

③ 応募方法

別紙の応募用紙に必要事項を記入し、さらに、発表内容をA4判用紙1枚に横書き800字程度に、成果や改善結果に限らず、そのプロセスにおいて工夫した点、苦労や失敗、振り返り、今後の展望等をまとめたものを

添付して、下記⑦の応募先(大会事務局)あて送付してください。受付は郵送のみとさせていただきます。

④ 締切り

平成27年12月22日(火)当日消印有効

⑤ 審査及び審査結果の通知

審査結果(採用・不採用)については、中災防による厳正な審査の上、平成28年3月下旬までに通知いたします。なお、審査経緯の照会には応じられませんのであらかじめご了承ください。

⑥ その他注意事項

- (1) 採用された研究発表は、平成28年10月20日(木)または21日(金)のいずれかの日に発表していただきます。なお、発表する分科会及び日時の指定はできません。
- (2) 発表者は、1名とさせていただきます。
- (3) 発表時間は質疑応答を含め20分を予定しています。
- (4) 視聴覚機器等の使用条件は後日発表者へご連絡いたします。
- (5) 発表者は、3,000字程度の発表原稿を大会事務局あて提出していただきます。なお、発表原稿の記載要領は大会事務局より後日発表者へご連絡いたします。提出いただいた発表原稿は返却いたしません。
- (6) 発表原稿に係る著作権は、中災防に帰属するものとし、発表原稿は当日配布の「全国産業安全衛生大会研究発表集」に掲載するほか、中災防の安全衛生情報として使用させていただきます。
- (7) 発表者の旅費等につきましては、発表者等それぞれのご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- (8) ご記入いただいた個人情報につきましては、中災防が責任を持って管理し、研究発表にかかる審査において使用するほか、研究発表決定の場合は、大会案内書、大会プログラム及び研究発表集に掲載いたします。

⑦ 応募先・問合せ先

中央労働災害防止協会
教育推進部企画課(大会事務局)
〒108-0014 東京都港区芝5-35-1
TEL 03-3452-6402 FAX 03-5443-1019
大会メールアドレス: taikai@jisha.or.jp

第 7 5 回全国産業安全衛生大会 研究発表 応募用紙

平成 年 月 日

応募区分（１）～（１３）のうち該当する応募区分の番号をご記入ください。

研究発表演題名 (40字以内)												
発表者	事業場名										業種	
	事業場所在地	〒 TEL () FAX () E-Mail									労働者数	名
	所属・役職名										会員区分 ☒ を付けてください	
	ふりがな氏名										中災防賛助会員 ☐ 一般 ☐	
連絡担当者	事業場名											
	事業場所在地	〒 TEL () FAX () E-Mail										
	所属・役職名											
	ふりがな氏名											
応募承認者	承認者事業場名											
	所在地	〒 TEL () FAX ()										
	所属・役職名											
	氏名	印										
研究発表要旨												
採用された研究発表は、要旨を案内書に掲載いたします。活動に至ったきっかけから、工夫した点や苦労した点等を含めた取り組み、成果等を120字～132字の範囲でまとめてください。「である」調でお書きください。												
												121
												132

備考

ご記入いただいた個人情報につきましては、当協会が責任を持って管理し、全国産業安全衛生大会で発表いただく際の円滑な運営のために使用いたします。また、当協会が運営する教育研修でのご講演依頼等をさせていただく際に使用することがありますが、その使用に同意していただけない場合には、□にチェックマークをご記入ください。

※ この用紙に、発表内容を800字程度にまとめたものを添付してください。

※ この応募に関して、中災防正会員の推薦を受けた方は、以下の事項をご記入ください。

推薦団体名 推薦団体代表者名 印